

今年もあとわずかになりました。この1年間、元気に過ごすことができましたか？インフルエンザが流行る時期となりました。手洗い・うがい・マスクをするなどの予防対策をしっかりとこない、冬休みを楽しく過ごしましょう。

冬の事故、やけどに注意！！

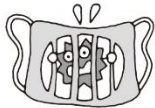


暖を取るための道具が、思わぬ事故を招くかもしれません。手を届かないところにおく。柵をつけるなどの対策をしてあげて下さい。湯たんぽなどの低温やけどにも気をつけましょう。

インフルエンザ vs マスクの効果

ウイルスをマスク内にとどめる

●インフルエンザウイルスの大きさは0.1 μ m。不織布マスクの目は5 μ m。これだと通り抜けちゃう？ 実はウイルスを含む咳やくしゃみの飛沫は水分で5 μ ml以上の大きさに。また表面に電気を帯びるので、大きなマスクの目でも、ウイルスを捕捉できるのです。
(1 μ mは1,000分の1mm)



ウイルスの侵入を防いで予防する

- 飛沫を吸い込む量を抑えます
- ウイルスで汚染された手で鼻や口を触る機会を減らします
- のどの線毛に湿度を与え、ウイルスを排除する力を維持します



インフルエンザは症状がでる1日前から感染力があります。流行時期にはマスクを着用しましょう



今年度、本校の感染症対策として、特にマスクの着用、教室内の換気に気をつけていこうと思っています。

マスクは、まだ着用できないお子さんもいますが、成長とともに着用できるよう長い目で支援していきたいと思っています。御協力をよろしくお願いいたします。

～感染性胃腸炎に注意！！～

毎年12月は感染性胃腸炎の感染者が増加します。

年度	10月	11月	12月
2018年	8	14	30
2017年	10	14	35
2016年	18	100	115

千葉県全域 年度別感染性胃腸炎集団発生件数

主な症状は、吐き気・嘔吐・下痢、腹痛、発熱などがあり、感染経路の1つとして、ウイルスが多量に含まれる患者のふん便や嘔吐物から、人の手を介して感染します。

感染力が強いウイルスもあるので、嘔吐物やふん便の処理などは、適切な対応をこころがけましょう。